

特集 夏の大会で活躍！小中学生アスリート

今年の夏も全国の若きアスリートの目標である夏の大会が開催されました。8月10日、県大会や全国大会で好成績を残した小中学生が市長と教育長を表敬訪問しました。今回の特集では、日々練習を重ねてきた市内の若きアスリートたちを紹介します。

問い合わせ 学校教育課学校指導係(中央公民館内 ☎73-1113)
社会教育課スポーツ振興係(中央公民館内 ☎73-1118)



仲間の応援を力に変え勝利をつかむ

菊川西中学校 女子ソフトテニス部



前列左から、内野欄那さん、杉田れなさん、若林梨帆さん
後列左から、平川琳子さん、稲葉優珠さん、鈴木葉菜さん、山本高裕顧問

菊川西中学校女子ソフトテニス部は、県大会で団体戦2位の成績を収め、8月7日から8日に浜松市中区で開催された「第45回東海中学校総合体育大会ソフトテニス部」に出場しました。東海大会では、トーナメント2回戦で岐阜県の「Gift Ted」に敗れましたが、東海地区の強豪チーム相手に善戦しました。

部長の杉田れなさんは、「東海大会は、いつもと違う会場で緊張しましたが、楽しむことができました」と大会の感想を話してくれました。自身の結果については、「自分のテニスをすることができました。基礎練習をしつかりやってきた成果が出たと思います」と手ごたえを感じていました。

テニスには個人戦もありますが、団体戦は1チーム6人でダブルスの試合を3回戦行い勝ち数を競います。そのため、団体戦ではチームの力が重要になるそうです。杉田部長は、「団体戦は個人戦とは違ってメンバーからの応援もあり、安心感が違います。もし自分が負けてしまっても、仲間がその分勝ってくれて、お互いにフォローし合うことができます」と話し、「私たちの部は、他の学校よりチームワークが優れている

と感じています。競技に明るく取り組んでいて、笑顔が絶えない雰囲気が出ています」とチームの強みを話してくれました。最後に「これから代が変わりますが、後輩たちにも良い成績を残してほしいです」とエールを送りました。



▲東海大会の試合の様子



と感じています。競技に明るく取り組んでいて、笑顔が絶えない雰囲気が出ています」とチームの強みを話してくれました。最後に「これから代が変わりますが、後輩たちにも良い成績を残してほしいです」とエールを送りました。